

# 新型タバコのリスクを正しく知りましょう

「新型タバコ」とは、従来の火を付けて煙を吸うタバコと異なる、近年出現してきたさまざまなタバコを総称したものです。具体的には、加熱式タバコや電子タバコなどがあります。

## ■ 加熱式タバコ

昨今、国内で販売されていて、よく見かけるのは「加熱式タバコ」という種類です。加熱式タバコは、タバコの葉を燃やさずに加熱して、タバコの葉から出てくる成分を吸い込むものです。タバコの吸入器は、葉巻状または棒状、箱形の装置などがあります。これを充電しておいて、タバコの葉を詰められた小さな別売りのカートリッジを中に詰めて使用します。

## ■ 電子タバコ

「電子タバコ」はタバコの葉を使用しません。プロピレン、グリセロール、水、香料が成分の液体を、電気で蒸発させることでエアロゾル（霧状）にして吸入するものです。ニコチン成分を追加した吸入用の液体もありますが、ニコ

チンを混ぜると薬機法で医薬品となるため、国内では販売されていません。

## ■ 健康への影響は？

オリンピックの開催に向けて、国内の受動喫煙対策を強化するため、2018年7月18日に改正健康増進法が成立しました。

加熱式タバコは、従来型タバコと同様に規制の対象です。加熱式タバコから出た気体は見えにくく、無臭のようですが、ニコチン成分は存在し、発がん物質などの他の有害物質も低濃度ながら依然として含まれています。逆に、有害物質を含むのに見えない、臭わないわけですから、気づかないうちに吸い込んでしまう可能性があり、従来型タバコの煙以上に厄介かもしれません。

また、加熱式タバコは、受動喫煙防止の観点から従来型タバコ同様、使用する場所も制限されます。従来型タバコから加熱式タバコに切り替える人がいますが、ニコチン依存症は継続され、血管収縮作用を持つニコチンによる循環

器疾患のリスクも引き継がれます。発がん物質などは少なくなっていますが、微量でも有害物質を摂取することに変わり、避けるべきなのは言うまでもありません。毒と分かっていながら、少量なら体に入れてもよいと思いませんか？ということですが。

受動喫煙防止対策が強化されてきた今日、従来型タバコから新型タバコに切り換える喫煙者が増加することが想定されます。肝心なのは、受動喫煙がない、また、健康の観点からすると能動喫煙もない社会を目指すことではないでしょうか。



JA広島総合病院  
(佐伯地区医師会)

渡 正伸 先生

佐伯地区医師会 (ホームページ <http://saikima.jp/>)

佐伯地区医師会は、廿日市市・佐伯区湯来町・江田島市(能美町・沖美町・大柿町)で開業または勤務している医師で構成されています。日本医師会や広島県医師会と協力しながら、地域に密着した医師会として約15万人の地域住民の健康を守るため、学校医、産業医、健診、救急医療、在宅医療などさまざまな仕事をしています。

# なるほど 健康講座

問い合わせ

健康推進課

☎ 21610